



七里小だより

3月号

さいたま市立七里小学校
令和3年3月1日

今年度の振り返り及び来年度に向けて

校長 保坂 泰司

いよいよ、今年度の最後の月となりました。暖かな日も続くようになり、待ちわびていた春の到来も間もなくといった感じです。

さて、昨年11月に保護者の皆様をお願いをした「教育に関するアンケート」の集計結果についてお知らせいたします。回答は、全保護者様の約6割の方々からいただきました。回答へのご協力ありがとうございました。結果としましては、全ての項目について、肯定的な評価(90%以上)をいただきました。その中でも、昨年度に比べ肯定的評価が減少した項目についてお知らせいたします。

項目	次年度へ向けて
学校行事について	今年度は、コロナ禍ということで、当初の計画通りに学校行事を進めることができませんでした。次年度については、各行事の内容についてよりよいものになるよう検討し、状況を見ながら実施していきます。
友だちとのかかわり	授業参観など、お子様の学校での姿を参観する機会を多くつくることはできませんでした。次年度は、参観の機会を多く設定し、また、子どもが学校でのことをご家庭で進んで話せるよう、すべての子どもが楽しい学校生活を送れるよう職員一丸となって努めてまいります。また、学校での子どもたちの様子については、学校 web ページに毎日更新していますので、ご覧ください。
地域とのかかわり	今年度は、子どもたちのために、地域・保護者と連携した活動を行うことができませんでした。子どもたちのよりよい成長には、この連携が重要であることを十分理解しております。次年度は、状況を見ながら、今まで以上に連携を強化して子どもたちのために取り組ませていただきたいと思います。よろしく申し上げます。 (次年度よりコミュニティスクール制度が始まります)

次に、子どもたちには「学習へのアンケート」について回答してもらいました。結果としましては、全ての項目について、肯定的な評価(90%以上)をしてくれました。しかし、否定的な回答をした子どもたちについて、学習に対する不安を取り除いていきます。そのためには、各職員の指導力向上のために研鑽に努めてまいります。そして、すべての子どもたちに「できた・わかった喜び」を十分に味わわせて、学習に対して自信をもたせていきます。

***アンケート結果の詳細につきましては、後日学校 web ページに掲載いたします。**

先日行われました学校評議員会での学校評価についての学校関係者評価委員による意見もお知らせします。

- 子どもたちは、毎日あいさつがしっかりできている。また、進学先の中学生もしっかりあいさつができているのは、七里小学校のときからしっかりできていた結果である。
- 子どもたちの結果から、彼らが学校生活に満足している様子が伺える。
- 今年度、コロナ禍のため地域・保護者、学校で連携した活動が十分に行えなかったのが残念であった。よりよい子どもの成長のために、コロナ禍後の地域・保護者、学校での連携をしっかり行っていきたい。

次年度の令和3年度の時間割についてお知らせいたします。今年度まで月曜日に実施していた「特別日課6時間」を廃止して「通常日課5時間」といたします。子どもたちの下校時刻は変わりません。他には毎週水曜日に七里っ子タイム(13:15~13:45)とクラブ活動(4~6年 6時間目)、委員会活動(5,6年 6時間目)を行います。

最後に、先日の懇談会時にお伝えした通り、次年度は子どもたちに「基礎的基本的な学力」の確実な定着や「研修：特別活動及びSDGs」、「当たり前ことは当たり前」等を大切にしながら、また「GIGAスクール構想」や「コミュニティ・スクール制度」の実施により、子どもたちのよりよい成長のために努めてまいります。